

議 平生町
議会だより

第 136 号

2015 年 7 月 24 日

発行 平生町議会
 〒742-1195
 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
 TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
 発行責任者 福田 洋明
 編集 議会広報広聴調査特別委員会



おねがいごとはなになかな（中央児童館 7月4日）

6 月
議会報告

臨時議会	2・3 ページ
いっぱん質問	4～10 ページ
定例会	10 ページ
委員会の活動報告	11 ページ
新しい広報委員会	12 ページ

臨時議会



岩本ひろ子 副議長



福田洋明 議長

新体制がスタート

議長 福田 洋明
副議長 岩本ひろ子

4月の選挙で当選した新しい議員による初めての議会が6月1日に行われ、議会構成が決まりました。

議長には福田洋明議員、副議長には岩本ひろ子議員が選出されました。各常任委員会の委員長、副委員長および委員の選任、さらに、一部事務組合議員の選出も行われました。

議長就任あいさつ

町制施行60周年という節目の年に議長という大役を仰せつかることになりました。

誠に光栄であり、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

日本経済は回復基調にあるものの、地方においてはまだまだその実感は無く、大変厳しい状況にあります。

また、人口減少、高齢化社会の中で将来の平生町をどう導いていくか、二元代表制の一

翼を担う議会の責任は大変重いものと感じております。

第四次総合計画後期計画を策定する年でもありますので、12人の議員全員で平生町の将来を議論していきたいと思っております。

皆様に評価される議会を目指し、誠心誠意努力してまいり所存でありますので、今後とも御理解、御協力をお願い申し上げます。





産業文教常任委員会

中本 敦子
細田留美子
副委員長
平岡 正一
委員長
久保 俊一
福田 洋明
村中 仁司



総務厚生常任委員会

松本 武士
岩本ひろ子
副委員長
淵上 正博
委員長
河藤 泰明
河内山宏充
中川 裕之

一部 事務組合	田布施・平生水道企業団	河藤 泰明 久保 俊一 松本 武士
	熊南総合事務組合	細田留美子 村中 仁司 中本 敦子
	周東環境衛生組合	河内山宏充 中川 裕之
	柳井地区広域消防組合	淵上 正博
	柳井地域広域水道企業団	久保 俊一
監査委員	平岡 正一	
農業委員	河内山宏充 村中 仁司	



議会運営委員会

久保 俊一
淵上 正博
副委員長
河内山宏充
委員長
中川 裕之
細田留美子
河藤 泰明

臨時議会

平成27年第2回臨時議会が5月18日に開催され、議案は承認3件でした。

町税賦課徴収条例など一部を改正する法律が4月1日付で施行されたことに伴い、緊急に執行を要するため地方自治法の規定に基づき専決処分されたものです。

この承認3件は全会一致で承認されました。

承認第1号

平生町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例

承認第2号

平生町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

承認第3号

固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例

平成27年第3回臨時議会が6月1日に開催され、議会の体制が決まりました。

報告2件を審議

報告第1号

平成26年度平生町一般会計繰越明許費繰越額の報告

報告第2号

平成26年度平生町土地開発公社の経営状況の報告

平成26年度平生町土地開発公社の経営状況の報告



洲上正博 議員

いっぱん質問



が聞きたい

質 上関原発建設の是非は町民の意見で

答 意見集約をする考えはない



上関町長島の集落

質

4月の町議会議員選挙で、一番多かった要求は、上関原発建設の問題である。
今回、日本共産党が実施したアンケートでは、上関原発建設について、反対が81%、賛成はわずか4%である。
当町の上関原発建設の是非については、町民の意見を聞いて決めていくべきだと思いが、町長の見解は。

答

町長

原発をめぐる新增設については、国も県も依然としてまだ判断を示していない状況にあり現段階で町民のアンケートなど意見集約を実施する考えは、町としてはない。
国、県の動向、地元の意向、そして議会の判断を踏えて、町民の生命、財産を守るため全力で取り組んで行く、これが基本的な平生町の考えである。

質 マイナンバー制度への対応は

答 国のガイドラインに沿った構築を進め対応していく

質

来年1月から使用開始となるマイナンバー制度は、個人情報保護のマスターキーともいわれひとたび流出すれば、はかりしれない被害を招く致命的な欠陥制度である。
町の対応を聞く
一、重要なシステム構築に対して、当町の職員の関わりは。
二、安全体制をチェックする特定個人情報保護評価への対応は。

答

町長

社会保障・税番号(マイナンバー)制度は、今年10月から個人番号の通知が開始され来年1月から番号カードの交付が始まる。
一、業務のシステムの構築については昨年度から改修に着手し、今年度も国の補助金を活用し構築を進めている。
二、住民基本台帳に関する事務基礎項目評価書は、特定個人情報保護委員会に提出、また監視、監督もされている。



マイナンバーを取扱う町民課



細田留美子 議員

質 目指せ、ゴミの減量化

答 啓発活動を行い循環型社会を目指す



役場に設置した回収ボックス

質

国の「小型家電リサイクル制度」により昨年から小型家電の回収を始めている。

役場や各公民館に設置した回収箱や広報に必要な費用は実証事業として全額補助である。回収実績と事業終了後の影響を質問する。

リサイクルも必要だがごみの発生抑制が重要だ。資源の消費を最小限にする循環型社会をどう形成するのか。

答

町民課長

昨年度は、小中学校のパソコンの回収が多く4,660kgと一気に回収が進んだ。

今年度は、今のところ18台である。

この事業については今後も継続実施をする。啓発活動を行なうなどごみの発生抑制、廃棄物の再利用などを図り、資源消費を最小に循環型社会を目指していく。

質 広報力で政策の向上を

答 多様化した広報メディアにしっかりと発信戦略を行う

質

近年広報方法は紙から電子媒体へと変化している。広報力の差が移住人口やふるさと納税などさまざまな政策に影響を与えているが庁内の広報体制はどうなっているのか。

また情報を発信するための戦略はどう立てているのか。総務省の地方への定移住促進を応援する「全国移住ナビ」への取り組みはどうか。

答

町長

今広報紙をベースにホームページ、平生ファン倶楽部、フェイスブック作成などに取り組んでいる。

全国移住ナビについては、オリジナルな魅力情報発信に向け協議を進めている。

プロモーション動画については、委託したいと思っている。いろんな方に平生町の情報を発信していく。



情報発信の広報ひらお



平岡正一 議員

質 空き家対策は十分か

答 対策を整備し対応する

質 町内各地に崩壊寸前の空き家があり、近隣の方々から危険を訴える声が寄せられている。現状と取り組みはどうか。

新しい法律が施行されたが有効性には疑問がある。税金は未納、行政の指導も無視の状況もあり、町の努力では限界がある。刑事告発をすすめ最後には司法の判断を求めることも必要と思うがどうか。



崩れかけた空き家

答 町長 現在、17件が特定空き家に該当すると思われる。特別措置法に基づくガイドライン等も示されている。データベースをきちんと整備し、来年度に協議会を設置し、計画を策定していきたい。

新しい法の有効性については、代執行の費用負担等課題があるが、町村会で論点整理できれば、国の方にも上げていきたい。

質 下水道普及の取り組みは

答 徹底していけるよう対応する



排水設備の設置工事

質 下水道の供用開始地域で、接続がされていない家庭が相当数あるが接続状況はどうか。普及率向上の取り組みはどうか。

下水道会計は独立採算をめざす制度であるが、27年度の一般会計からの繰り入れが3億4千万円を超える状況で、町民の公平性からも疑問がある。

町長自らが先頭に立って取り組むべきである。

答 建設課長 下水道工事を行う際に住民説明会を行っている。欠席の方には個別訪問している。広報では4・11月に掲載している。供用開始後3年を経過する方には年1回、お願い文書を郵送している。

答 町長 一度洗い直して、個別訪問も含めて、徹底していけるように対応していきたい。



久保俊一 議員

質 町民からの要望への対応は

答 連携し、しっかり対応していく

質

町民や自治会からの要望・意見・提案などの処理及び回答等は、どのように対応処理されているのか。継続中の要望等に対しては、定期的に説明しているのか。各課で要望等の内容が、関連するようないは、どのように対応しているのか。国・県・関係機関との連携は、必要に応じて、その都度されて説明しているのか。



周防高潮対策事業 佐賀（荒木川）

答

町長

各課で受け止めたことについては各課で、課をまたがって処理をしなければならぬ問題は連携して行つて。国・県・関係機関との連携は、説明責任を果たしながら進める。

答

建設課長

要望については、事業実施申請書を出していただいで協議の上、優先順位をつけて、回答している。国・県への要望は、要望したことを報告している。

質 3年後の予算編成は大丈夫か

答 財政基盤をしっかりしていきたい

質

3年後の平成30年度平生町一般会計、約50億円規模を現状の厳しい財政状況で予算編成ができるのか。歳入・歳出に何か改善策があるのか。

財政の厳しい時期に副町長が任期満了で、勇退されるが、当分の間副町長を空席にする条例を提出して、町長が兼任か民間から選任すれば歳出の改善策になると思うが、考えなかったのか。

答

町長

予算規模は、町民の多様化するニーズを踏まえ、将来の布石を考へながら予算編成をし、財源を確保していく。

改善策は、事務事業の効率化・合理化については、第6次行革大綱の策定に取り組んでいく。財政再建は、町債の新規借入れを抑制し、財政基盤をしっかりしていく。副町長のポストは今の町政の中で重要である。行政運営の経験と実績を踏まえて選んでいく。

平成22年度	4,749,400
平成23年度	4,841,500
平成24年度	4,875,400
平成25年度	4,875,200
平成26年度	4,931,000
平成27年度	4,893,000
～	～
平成30年度	×, ×××, 000

平生町一般会計当初予算(単位:千円)



河内山宏充 議員

質 歩きづらい「町道佐合島線」

答 思ったより急勾配になった



傾斜のある佐合島線

質

佐合島の環境対策について質問する。改良工事完了の町道には、横断方向に急勾配な傾斜区間がある。歩きづらい町道になったという声を聞く。なぜ傾斜つき町道か。河川の河口部は、潮の干満、波の力により海のゴミが堆積した状態。コバエ・悪臭の発生原因になる。排水対策は考えているか。

答

建設課長 現地調査をした際、海側、擁壁側に水抜き穴がある。そこに雨水を排水するしかない。緩やかな横断勾配で考えていたが、部分的に思った以上の勾配になった。海岸保全施設整備事業として、フラップゲート、防砂壁の設置を行うことは可能であるが、早急な施設の設置は困難である。

質 どうする尾国コミュニティセンター

答 検討する優先度の高い建物である

質

公共施設の危険度判定を含めた安全性の判断・今後の維持方針について質問する。尾国コミュニティセンターは建築後32年の公共施設である。玄関のタイル剥がれ、コンクリートひび割れ、塊の脱落など建物自体が経年劣化と思える状態。安全性は大丈夫か。補修を重ねながら維持する方針か。

答

町長 建物の安全性については、専門家に判断を委ねるが、風雨等により相当老朽化が進んでいるのは事実である。学校耐震化が済めば、社会教育施設の改修計画の検討をする上で優先度の高い建物であることは間違いないと思う。地元の方々とともに協議をし、対応していきたいと考えている。



老朽化が進む尾国コミュニティセンター



松本武士 議員

質 選挙改革の対応は

答 十分協議をする

質

高齢の有権者が増えているので、投票所から遠い地域には無料の巡回送迎車を用意するべきではないか。
また、来年の参議院選挙から18歳以上に選挙権が引き下げられるが、あと1年しかない。「選挙啓発出前講座」等で啓発をするべきではないか。
高校に期日前投票所設置の考えは。

答

町長

投票所までの送迎をしたり、商業施設を使って投票所を開設したりというケースもあるが、問題は、投票所のネットワークができていて、本人確認ができる条件整備をするのが求められる。

答

選管事務局長

選挙に行きましようという啓発活動をしていきたい。
高校は教育施設であるので投票所開設は今後研究していきたい。



質 学校給食の地産地消は

答 アイデアは貴重な意見と思う

質

2014年12月より新潟県三条市が学校給食から牛乳を4ヶ月間休止した。工夫すれば、牛乳を止めることも可能のようだ。学校給食の牛乳の量を減らし、平生町の食材に代えもつと地元産業を支えてみてはどうか。
保護者にアンケートをとってみてはどうか。

答

教育長

- ①主菜(魚や肉のおかず)や副菜(主におかず)の量を増加。
- ②手作りふりかけを月2回程度から週2回程度に増加。
- ③味噌汁の出しに煮干し粉を使用。
- ④ヨーグルトを週1~2回提供。
- ⑤中学生のご飯量をお米で5グラム程度増加。

新潟県三条市学校給食

給食によるカロリー摂取量は640キロカロリー、牛乳一本138キロカロリー、牛乳をやめた場合ご飯の量は1.5倍にしなければならぬ。
地元海産物を使って水産業の振興に資するアイデアは貴重な意見と思う。
三条市の検証結果ができれば、参考にしながら、ひとつの意見として受け止めていく。
アンケートについてはこれからの推移をみていく。



河藤泰明 議員

質 災害時の体制再整備と人材活用を

答 関係機関との連携協力を進める

質 「交流推進及び災害時相互応援に関する協定」で、災害発生時に平生町ができる事を伝えておくべきである。

この協定を機に災害発生時の体制を再整備し確認してはどうか。

家庭環境の変化で、働いていない医療関係の資格を持った方、看護師さんや保健師さんなど地元の優秀な人材を把握し、協力して頂ける制度も検討してはどうか。



うまく水が出るのかな。(給水訓練・大野地区)

答 町長

中国5県の町村会会長、事務局長会議で、減災・防災対策についての協議をした中で、県域を越えての相互応援協定となった。被災自治体に対する物的・人的な支援に努めるという項目をこの中に入れている。

いろんな災害にどう対応するか、関係機関との連携・協力などを含めて、体制づくりをしつかりする事が、基本的な考え方である。

副町長・監査委員の選任に同意

副町長 吉賀康宏
監査委員 平岡正一



平岡正一 監査委員

議会選出の監査委員の任期は平成27年5月31日までとなっております。引き続き、平岡正一議員を再任することに同意しました。



吉賀康宏 副町長

副町長の任期は平成27年6月30日に満了となり、吉賀康宏氏を選任することに同意しました。

平成27年第4回平生町議会定例会が6月15日から6月24日までの10日間の日程で開かれました。同意2件提出され、全員一致で同意しました。

6月定例会

委員会の活動及び 閉会中の所管事務等の調査項目

常任委員会は、行政の事務に関して調査する権限を持っており、委員会の活性化と機能の充実をはかる為に項目を決めて、積極的に議会の閉会中に調査を行なうとともに、陳情等を審査しています。

議会運営委員会

議会運営に関すること、会期・議事日程・会期の延長・休会・特別委員会の設置・改廃・議会関係の条例・規則の制定など、議決を必要とする案件の取り扱いを協議し、議長の諮問に答えるなど議会の円滑な運営を図るため設置されています。閉会中の調査案件は、議会の運営に関する事項、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項の3項目です。

総務厚生 常任委員会

総務課・税務課・総合政策課・町民課・健康福祉課・佐賀出張所の所管に関する事項。

- 1、地域振興
- 2、防災対策
- 3、行財政改革
- 4、マイナンバー
- 5、税の徴収対策
- 6、地域福祉
- 7、環境問題
- 8、国民健康保険

産業文教 常任委員会

経済課・建設課・教育委員会の所管に関する事項。

- 1、産業振興
- 2、公共施設の維持管理
- 3、下水道事業
- 4、学校教育の振興
- 5、公民館活動の充実

産業文教 常任委員会報告

議会閉会中の調査案件「学校教育の振興」

において、7月6日(月)に、町長・副町長・教育長及び教育委員会と、今年度から複式学級になった佐賀小学校を訪問しました。

学校、教育委員会の複式学級の取り組みについて説明を受け、意見交換後、各学年の授業参観、その後児童と一緒にランチルームで

楽しく給食を食べました。

これからも児童の減少が予想される中で、佐賀小学校、平生小学校のあり方は、佐賀地域だけの問題ではなく平生町の全町民で、考えていかなければならない重要な問題、課題です。

平生町の子どもの未来のため、皆で考えていきましょう。



複式学級4・5年の授業



ランチルームにての給食

平成27年度学級編制

1年	2年	3年	4年	5年	6年
13	4	11	7	8	19
13	15 (複式)		15 (複式)		19

児童数の合計予想

・28年度 (48人) ・29年度 (44人) ・30年度 (44人)
・31年度 (39人) ・32年度 (38人) ・33年度 (31人)

議会広報広聴調査特別委員会

よろしくお願ひします

私たちが今後2年間
議会だよりをお届けします。



中本 敦子
村中 仁司
副委員長
岩本ひろ子
委員長
久保 俊一
松本 武士

新人議員1人、帰り咲き1人を含んだ、私達6人が今回から「議会だより」を担当します。気軽に手に取ってもらい、分かりやすく、読み

やすい議会だよりをめざして頑張ります。投稿コーナーなど、みなさんご意見をお待ちしています。

議会の動き

(H27・3/9)	4月7日	4月定例農業委員会総会
(H27・6/14)	4月30日	議会広報広聴調査特別委員会
3月9日	5月7日	議会広報広聴調査特別委員会
3月10日	5月8日	5月定例農業委員会総会
3月18日	5月13日	議会広報広聴調査特別委員会
3月23日	5月18日	第2回臨時会
3月23日	5月29日	周東環境衛生組合議会臨時会
3月23日	6月1日	第3回臨時会
3月23日	6月3日	議会運営委員会
3月23日	6月5日	議会全員協議会

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

・字数 400字以内
・提出先 平生町役場議会事務局 議会広報担当者
紙面の都合で一部変更することもあります。ご承願いたします。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

今年、平生町制60周年の記念すべき年です。秋には記念式典も開かれます。大いに祝いをしたいと思えます。

▼最近の日本列島、火山の爆発、集中豪雨、真夏日周辺での突風ひょうまで降って、何か狂ったようにみえます。

これに比べ、平生町をみますと災害の少ない町だと、常々感じています。

しかし、災害はいつ起こるか分かりません。

防災に対する備えは、常に心がけていきましょう。

▼今回から、4年ぶりに広報委員会へ帰ってまいりました。

分かりやすく、読みやすい議会だよりを作っていきたいと思えます。

渚上正博